

5/22(日) 14:52~17:45 陽明小学校 参加者 55名 発言者 のべ37名
○…ご質問、ご意見 →…川西市教育委員会の説明

<在籍 保護者>

○午前中の緑台小学校の説明会にも今行ってきて、またきました。その時と、言ったことと違いますよね。それとホームページに書いてある30年度、緑台小学校、廃校なって統合されるって書いてあるやつを撤回します。ということでしたよね。緑台小学校の方では「すいませんでした」と謝りましたよね。そのことは、どうなっていますか。それと延期すると言われましたし、白紙になるかもしれないという可能性があります。どちらか2つです。と言いましたよね。それはどうなっていますか。この場でちゃんと陽明小学校の皆さんにもきっちり説明していただきたい。向こうで色んなことを言われて、言われたからと聞いているんですか。今も委員長の方は、止められていますよね。今、緑台小学校の方で説明を求めていますよね。だから遅れていますよね。こういう事態になっていますよね。っていうことは、住民の皆の意見を反映してやってる訳じゃなくて、緑台小学校を先にやって、陽明小学校が2時からありますんで、さっさと帰りますという感じにしようとして、午前中に緑台小学校を済まして、この前もそうでしたけど、これでは困ります。私たちは子どもたちを安全で、かつ教育の良いところに預けてるんです。一番に考えることは、子ども達の事です。子ども達が安全にちゃんと学習が出来るかが、一番だと思います。人口がうんぬんじゃありません。教育がいいから私たちは、このグリーンハイツに住んでるんです。環境がいいから私はこの街に住みました。すごくいいと思います。今、3年生と6年生がいますけども人数が少なくて、運動会とか行事に支障が出たことは一切ありません。教育は行き届いててすごくいいと思っています。皆それで平野の人たちも緑台小学校に来てるんです。グリーンハイツは、やっぱり2つの小学校があるべきだと思います。山に小学校が2つないと、どちらかが遠くなります。それは安全性に欠けてると言います。ちゃんと緑台小学校で説明したことをきっちり言ってください。ホームページでやってたことは誤りでした。私たちが先走りました。責任を取りますと言ってください。色々な方面で掲載や、配られているやつにも全部間違いでしたってちゃんと書いてください。緑台小学校に言ったことをちゃんと行ってください。ここで。私たちに言わさないでください。以上です。

<地域の方>

○この問題についてはですね、私、傍観してたんですよ。ところが4月の去る日にですね、こういうことでその署名してくださいというのがありまして、それと、今年、自治会の役員をすることになりました。これはちょっといかんという事で今回初めて、来ましたんですけども、今の話を聞きましてね、なんかその、ちょっとね、しょっぱなから、噛み合っていないと言いますかね、ちょっと議論がおかしいです。私はですね、この統合の問題を考える場合、ああいった具体的なことをされときながら、私、実はワークショップですね、あの川西の10年ビジョンを創り上げたメンバーの一人としてね、アステで出発しまして、数回のワークショップでありまして、最初は黒川小学校で、最後はまとめはしたんですけど、その時にやっぱりこの問題が出ました。端的に言いますと、減少社会を迎えるんで、公共施設についてもしかるべき統合縮小せないかと。もちろん学校も入っていました。それでメンバーはもちろ

ん、まあしゃあないなあという事で、賛成したわけです。よくはあることなんですけど総論賛成、各論反対という端的な例なんですけどもね。現在を考えてみますとね、やっぱり国レベルでも、地方の公共団体でもですね、次世代に対する借りといいますか、次世代への配慮というのが非常に叫ばれているんです。どっちへ向いても支出ばかり、市議員さんも色んな記事も私も興味をもって詳細に呼んでるんですけども、全部、国なり市なりの支出を伴うことばかりですね。ワークショップでは、税金をどのようにして増やすということもやったんですけどね、そういう視点が根本的に欠けているというふうに思います。それから具体的な問題もあります。私は単学級よりも複数の学級があつて切磋琢磨するのはいいと考えています。やっぱりたくましい子どもたち、たくましい若者を育てたいんですよ。おそらく10年たったらですね、中国や東南アジアにしてやられますよ。今は、非常にひ弱な青年からきましてね、だからもう少しね大きな視野を持ってまず考えなくてはいけないこと、それから先ほどもご最もなことなんですけど、緑小でいいんじゃないかと、ホームページはこう書いてありますというようなことを、そういう言葉の揚げ足を取るのではなしに、大きな視点で考えて、我々グリーンハイツとしてどうするかと。グリーンハイツは、この北摂地域でもね、一番、古くから開けた街で、わたくし共が、非常にコンセンサスを持った人たちで成り立っていると思うんですよ。だからその辺は、もう少し大きな視点で、やっていかなあかんというふうに思うんです。この辺の資料を見ますとですね、例えば2つの小学校を1つに統合すると、どういう経済的な効果があるのかと。例えば緑小を廃校にして、こちらに統合すると、どれだけになるのか。うち、川西市として、どれぐらいの効果があるのかとか、そういう面も、合わせて説明頂きたいというふうに思います。

それから、もう1点は小中校の一貫校にせなあかんと思います。私の人生経験から言いますとね、私は国民学校へ入学しまして6年生の期間に開戦があり、終戦がありました。6年生になったときにですね、GHQの指示で、6・3・3制と言ってきました。小学校2年のとき新制中学校というのが出来たんですね。あなた達は旧制の5年生中学校にね、私たちから見ると非常にまあ充実した部活があり、勉強しとったことなんです。ところが、新制中学が出来ましてね、同じ敷地内に高等小学校という過程がありましたから、私共は新しくなった木造の校舎に行ったわけです。今でいう施設分離型ですが、そこで何を試したいんかと言いますとね、自転車通学はするはで、だいたいまあ調子が出てくるのはですね、1学期終わって、それで夏休みが終わって2学期頃からですね、だいたいまあ調子が出てくる。で3年生はもう2学期終わる頃にはですね、もう次ということで、そんなに地について勉強は出来なかったという記憶が鮮明にあります。だから今の中学3年っていうのは、私は非常に中途半端やと思いますね。だから今答申で出されているように、学級のくくりをね、例えば5・4制にするとか色んなことがあると思うんです。カリキュラムな感じで。そういうことも含めて是非ね、一貫教育をやってもらいたいというふうに思います。それを証拠にですね、戦後に非常に先進的な私学ではですね、いち早く小中一貫の授業をやっておりまして。私は、そういった視点で、ひとつはもう少し大きい視点でこの合併問題を考えられないかということが1つ。それから2つはですね、小中一貫校は賛成です。そのほうが、学業の成果も上がると考えております。以上です。

<在籍 保護者>

○時間遅れられたというご都合もあるかと思うんですけれども、最初の説明が緑小でされたものより、ちょっとはしょられたのかな、という印象を受けたので、緑小の方で、どのように説明をされたのかということと、緑小の方で、どういうご質問が出て、どういうご回答をされて、なんで延びたかとか、その辺のところをちょっと、午前中出られてた方がそれを踏まえて今おっしゃっているんで、そこが、見直ししていただくということで先ほど方向性がちょっと変わりますということをおっしゃっていただいたので、また大分違ってきているのかなと思うんですけれども、その市議会の方でも十分な合意が得られていないので見直しますとか、人口も見直すと増えてきている部分もあるので、というところも、午前中の説明で最初からされてた部分で同じ説明された上で緑小で長引かれたのか、長引かれた結果で今こういう答えが出てくるのかという話と合わせて、午前中と同じご説明を聞かせていただきたいのと、その経緯、今時間をおしてとおっしゃってたんですけど、そちらの方も詳しく聞かせて頂ければと思います。宜しく申し上げます。

→申し訳ありません。先ほどちょっと時間のことがあって、説明については、はっしょってしまいましたけれども、掲示させていただいている資料の説明について、基本的には両校同じような説明をさせていただいてるんですけれども、その中でいくつかのご質問が緑台小学校の方で出てきました。

その中で、ひとつは先ほども言いましたけれども、今日の説明会の中で、いわゆる統合についての決定の方針をこの場で説明させていただくということでしてたんですけれども、そうではなくて、もう少しお時間をくださいという、そういう形になりました。

その中でひとつはもう少し時間を待つということは、簡単に言えばどういうことなのか。一つは、具体的に言いますとすべて白紙撤回になったのか、それか、時間が伸びたのか、そういったことのご質問がありました。教育委員会としましては、基本的に現時点で言えることは、基本方針を変えるのではなくて、あくまでも今後どういう風にしていくのかを考えさせていただきたい。というそういうことでご回答したんですけども、それでは十分な納得が得られない中で、具体的な案と言いますか、具体的にはどういうことなのかという話の中で、可能性としては時期を延ばすであるとか、白紙撤回するとか、そういう風になる可能性も秘めているという、そういう形でとらえて頂ければと思っております。今言えることは、何度も言いますけれども、今後色々ともう一回きちっと課題であったりとか、そういったことを整理する時間をください。というお願いです。その中で、この意味、可能性として、先ほども申し上げた様な可能性が出てきているということについては、緑台小学校の方の会場でもお話ししました。それともう一点、ホームページの件でございます。ホームページの件に関してはすでにご覧になった方もあると思うんですけれども、ホームページについては、教育委員会の中のホームページの欄に、すでに緑台小学校と陽明小学校および清和台小学校と清和台南小学校を統合しますという形で明記してきました。

これについては、川西市教育委員会としてその方向で進んでいくという決定事項で進んでいった訳ですけど、それにもとづいて色々な準備を進めていった訳ですが、最終的に決定ということについて、どこに決定権があるのかというそういう話題になりまして教育委

員会としての案としては決定していきますけども、まだ市としては決定していないのに市として決定したということで、掲載されているのは少しおかしいんじゃないか、というご指摘をいただいて、そのことについては誤解を招くような形での掲載であったということで、お詫びを申し上げます。合わせて、それと、もう一点ですけれども、緑台小学校においてはね、平成30年度に統合するという前提で、前もって色々な理由があれば陽明小学校の方に、特別な形で転入出来るという、そういう事で考えを出したことについても、もともと決定してないことに対してそういう案内を出すのは、いかがなものか。というご指摘をいただき、それについても不適切であったんじゃないのか、ということで謝罪をしております。そういったことが、午前中のところで話が出ていた内容でございます。あと細かな点はたくさんございますけれども、一番大きな点は、そういう点でございます。

<地域の方>

○午前中の話も聞かせていただいたので、ちょっと確認をしたいんですけども、2つあります。

ひとつは、延びる可能性があるという事は延びない可能性もあるということなんでしょうか。私自身は、午前中の話を聞いたら、これは延びるんやなというふうに感じたんですけども。そこを1点確認したいということと、もうひとつは不適切であった、その陽明小学校に転入することが出来るよというアンケートを緑台小学校でとったということが不適切であったというふうに発言されましたけれども、その中で特に、午前中の方は、やはりそこで地域がもめていると、もめる様なことを教育委員会として投げかけたのは、どうだったのか。そこが、いけないんじゃないか。というふうにおっしゃっていたと思うんですけど、その点についてはどうだったのか。その2点をお願いします。

<地域の方>

○午前中そちらの方に寄せてもらったんですけど、先ほどご指摘された、そちらの方と同じように、不思議に思います。二枚舌ですね。はっきり言うて。そんなことでこの地域、上手なコミュニケーション出来てこないような形で、市の方が、持っていったんじゃないかと思うんです。あのときは、今おっしゃった方は、白紙撤回かもしくは時期をずらすと。だから当然30年の4月からは、これは一旦ダメです。ということをはっきり言われました。いくら延びるかわからんけどっていうような形では皆さんと話しておられました。それなのに今の話だったら検討中、そんなことはなかった。それと同時に教育長さんの方ですね、ああいう勝手に自分で判断して、FaceBookかホームページとかに出してしまった。これに関しては「申し訳ございません」ということで、はっきりと向こうの緑台小学校では言われました。そのことについて二言がないのかどうか。

こういう様なちょっとしたことをはっきりとこのことを言わない限りは私ら住民、言うたらコミュニティは潰れていくような形になります。そんなこと絶対こんなこと言われへんことがどうか知りませんが向こうさん、きつく言うてましたでしょ。人数の少ないところが、まあ言うたら続いて人数の多いところの小学校がつぶれるのか、こんなに不合理なことないって、最後はそこまでお

っしゃって。ただし、どちらも残したいんや、ケンカをしたくないってことをはっきり言うてはりました。なのにそういうことを、詳しい、波風立たないような形で説明がなぜ出来ないんでしょうか。と思うんですよ。私らは自分自身が、やっぱり正直、緑台の小学校ですからね、3人卒業させていただきました。それから孫も結局1人をつれて来て、今また向陽台につれてるんですよ。それが来年から、来年ですかね？来年から小学校1年間に行けるんですけど、あと1年間は緑台の方じゃなくて向陽台になってるよ。っていう形になってる。私も娘に対して申し訳ないな。という形になってきたんですけど、結果的にはそういうことになってやはりこういう話し合う中でも基本的に正しいことは正しいと言うていただかないと、こういう話し合いをしてきたんだと言わないと全然話が前にすーと進んでいくばかりです。そうなったら私らは、緑台の住民とか言うのは、それは嘘や。はっきりと言うてると思いますよ。今度からは、これ3回目ですけど、4回目5回目になっていくんだったら、必ず陽明小学校の方と一緒にしてくれと言うてはりましたよね。それも約束されましたよ。してませんか。あなた達はそうですね。っていう様な同意の話をされました。だから私もそやから、あなた方6人に対して、とりえずこういうことで、もう一つ言いたいのは、教育長さんはですね、結局緑台の地域においては最近新しい新入生が入ってきてると、住民さんは、教育を受けなあかん若い世代が入ってきているから、事実、現実にもう30年のときには、30年度にしなくてもいいという考え方になっているという事まで教育長さんはおっしゃいました。だからこういうふうな見方っていうのは、やっぱり色々流動的になってるからもう少し時間をください。と言うようにして緑台の方には言うておられましたね。もう少し検討させてください。その検討の結果、白紙撤回するのか、もしくは条件的に長期間、やっぱりだんだん人数が増えていってるんだから、ある程度こう、ずらして物事を考えるのか、その結果、教育委員さんとか教育委員会さんが、いやいやもう次回は言うたとおりに、そのまましますねん。っていう形になっていくのか、そういうこともはっきりわからなかったら、私はそこで、こういう様な結果を踏まえて署名までくださいと申し上げましたよね。覚えておられますでしょ、6人の方。

そういう様な変更の過程があるということを理解しました、ということでちゃんとお詫びもします。という形の中で署名まで私要求しましたけど、もうひとりの方からですね、議事録のビデオに入っとるから、必要ないんじゃないかということで私も抑えたんですよ。

ここへ来てね、最初は不思議で不思議でしゃーなかったというのは、私も同じことです。この説明をですね、あなたは30分以上もかけてですね、説明してきたね。この中の内容を。今たった5分です。ちゃんちゃらちゃんもええとこじゃないですか。緑台小学校の方で言うてたのは、私らの質問をさえぎるために長時間するのかと。そこまで言われましたよ。ほんで無理くり30分ぐらいで止まりましたわね。あんなん1時間でもしゃべってるのと違いますか。そんなことな、ここやったら、まあはっきり言うて何にも心配ないやろと言う事ですね、さーっと5分ではい、質問。で終わった後でしゃんしゃんしゃんと帰ってるんかもしれせん。私らもね、正直言うて、ごはんも食べてないんです。ね。おたくらもごはん食べてないかかどうかは知りませんで。そやけど、そこまでね、やっぱり子どものことを、コミュニティのこと、孫のこと、色んなことを考えてね。私もこんな昼間一日潰しても構わん、価値があると思って来たんです。それが、やっぱり向こうに来たらどんな話されるんですか、まで言われてですね、話が違うことされたら余計に困りますと、言われましたよ。そやけど現実にそういう話がある。こんだけ揉めてて、教育長さん前のところで1時間

超えたのは、ずーっと出させてこれなかったから、必死でここまでこれたんやと思いますけれども。そこまで揉めてる、コミュニティを潰すっていう事をやったらいけませんよ。自分らの我をはってですね、私らの言うたことはそのままや。これでそのまま、署名でもしてくれたら別やけれども。署名なしですから、今だと案の条、まあ適当な話、ちょっと変更、ちょっと留保してください。そういうとこで終わっちゃいます。だからご指摘された女の方は、白紙撤回ですかどうですか。そこまでちゃんと言いましたよ。教育長さんの方も、ホームページの方でそういう形で勝手に自分らでやった。申し訳ないと。申し訳ないでは済みませんとまで言われました。何とか、ホームページの方を改善してお詫びします。ではあきませんと。ホームページ見ない人もありますから、とりあえずこの地域の中で、とりあえず、あの、広報誌でも、必ず載せてください。そこまで言われまして、その時は「はい」とは言わなかったけど黙認したんですよ。言わなかったんですよ。とそういう言い方されたら困りますけど。その時はしませんとは言いませんでした。皆が黙って聞いてました。あっ、それやったら紳士やな、と私は思たんです。

ただ、今のご説明聞いてたら何にもわかってない。それと同時にやっぱし皆さんご存知かどうかはわからんけれども、この地域の小学校、高等学校すべてですね、私らの購入する金額で建てたんですか。これは、川西市が土地を買って、建物を建てたんと違いますねん。昭和41年、50年前ですけど、ここの販売において、川西市が川西方式っていう方式をたてて、公共物はすべて、販売元が負担しろという形で、オーケーして、条例が出来て日本で第一号ですよここは。そして、それに対して、業者はわかりました、という事で当然業者ですから、私らの分譲に上乘せしてやったんです。だから基本的にはね、確かに川西市のもんや言うたら、それまでのことやけど、いきさつから考えたら、あなた方、前に立っている一人か二人か別としても、そんな生まれていない時からそういう話出来てきているんです。なんせ皆さん知っている方は知っている方やけど知らん方は申し上げときますけど。そういうような地域のね、コミュニティの為に、小学校があるんです。小学校がなくなったらですね、正直私は緑台に住んでいるんですけど、緑台のところは、ほとんど土地売れません。あんなとこ、もうとてもじゃないけど、決まってるんやろと。向陽台いっちゃうから、ここから50分かけて行かれへんて。小学校1年生、2年生が重たい荷物を持って、夏の暑いところに50分くらいかけて上がりますか。うちは、多田中学校の前の辺りですわ。そなん、私でも途中でしんどいすわ。それに、向陽台に住んでる者でもですね、そのまま斜めに行けたらええけど、そうじゃないでしょ。「西友」まで来て、直角に曲がっていけ、とこういう形でしょ。それはあんまり、子どもに対して失礼ですよ。もう少しやっぱりそういうことに書いてありますけど、たった4キロや。4キロ程度、他の小学校、日本全国では、当たり前や。と書いてますやん。それは坂がないところなわけですよ。それでも4キロって子どもの足で1時間かかりますやん。そこまで行ってないんか知らんけど、それでも緑台のね、多田大橋のあたりからずーっと上がった、あそこも結構な高度になりますからね。あの坂をね、重い学習の本使ってね、毎日ね1年生に上がってこいって言うんですか。誰も来ませんよ。ですから、これこんなこと言うたら、学習のことと別やけど、土地もぼんぼんぼんぼん下がってきている。だから緑台小学校のとき言われましたやんか、土地の保証もしろと。そういうことも複雑な思いがある訳で、このあたり、皆さんご存知かわからんけど、土地たった20万切ってますよ。18万ぐらいで売買されてますよ、今。18万違うわ。980万で60坪、なんぼになりますか、計算したら。980÷60。それもね、不動産会社さんが

言うてる値段。実質なんぼかわからへん。15, 6万で売買されていると思いますよ。これここ1、2年の間にぐぐぐって下がってきて、誰も新築買われへん。やっと今まで力あるなと思って伸びてきたら、かくっと落ちてきた。そういう様なことを踏まえてコミュニティがなくなるということは、どんだけ恐ろしいことか。ほらこんだけ下がりましたよ。私らの言うたとおりましたよ。当然ひとつの学校になって良かったでしょと言われます。違うんですよ。

今日も急に言いはりましたよね。教育長がね。一貫九年生の学校方針ですよ。私初めて来たから前の時言うたかどうなのか知りませんが。九年生で何のメリットがあるんですか。学校の先生にとってみたらえらい迷惑やと思います。はっきり言うて。学校の先生、中学校行って小学校行って次々行けて、そんなんあきませんよ。自分らの立場でばかり物言うんじゃないで、みんなの立場で考えてやってくれたときには、やっぱり発展していきますよね。何でここで、皆さん新しい方が入り始めたか。若い人でも買えるからなんですよ。そういうところがもう来えへんとなってしまたら、何にもならへんってことになるね。そこらへん考えたときに、別に単学級が悪いという訳ではないと思います。しかし、それでも複数学級がええと言うんやったら25人とか30人とかにすべきなんですよ。35人とかいう形にせんでもかまへん。やっぱり川西はですね、25人ぐらいでやってるんだと言うたら皆さん来ます。そういうところは川西市が昭和41年に日本でやったことが一番良かったんですよ。だからこそ川西は伸びたんです。後ろ向いていること考えると、やっぱり前向きに考えてくださいよ。ほんとに。学校の先生の月給って言うたって、それはね、それは2、30万はあると思いますよ。先生も楽や、ほんなら余計子どものことに対して、25人学級、どんだけ生徒ひとりひとりに手間かけてやれますか？35人大勢、35人精一杯やれやれって言うんじゃないし、ここまでやっているんだ、川西はここまでやってるんだ。テレビでも絶対放映されますよ。そういうちょっとした利点がある、ちょっとやなく、ものすごく利点があるということを説明されたらもっとこのコミュニティが発展していくと思いますよ。だから、そういうところ考えたときに、あまりにもせこい話をしないように。舛添さんじゃないんだから。ここは。もうちょっとやっぱり教育予算に対して教育委員会さんも、もうちょっと出すようにしてもらわないとあかんと思うし、現実もうすでにさっきの緑台小学校のときでも言うてましたけど、他の小学校、中学校は来年くらいから、エアコンを全部入れ替えるかなんかする言うてんのに、松風幼稚園とこの緑台だけは予算が外れている。そんな結論ありきでね、公開しますよ、これ結論出しますよってそんな大きな顔をして言えますか。もうちょっと親身になってね、皆必死になって、向こうの方も言うてましたやん。陽明小学校の父兄とケンカしたくない。せやけど、やっぱり、とことんやりまっせって言うてはりましたやん。何で人数の少ない所が、存続なるんやと。根本はそれでしょ。根本は、子どものことなんですよ。私らも孫がね、そんなもん40分、50分緑台のどこ上がっていくのはしんどい。だから私もこんな関係ないっていう地域の人間やけど、来たんです。もうちょっとやっぱり、温かい目で見えてあげてください。お願いします。

(拍手)

今先ほどね、女性の方言われた通り回答がまだですやん。回答言うてください。私の意見間違ってるなら間違ってると言うてくださって結構ですよ。

→1つはホームページの件、それからもう1点は、白紙撤回か延びるのかと言うことでご

ございますね。その点につきましては、基本的には可能性としてそういうことも考えられるという事言ってるわけで、現時点で言ってるのは、今まで進めてきたのをいったん止めて、もう少し考える時間をください、と言っていることが原点にあって、それに対して色々ご質問いただいたんですが、それは、どういう意味なのかということ。1つは白紙撤回か、それから時期を延ばすということなのか、あるいは、平成30年度にそのまま統合を進めていくのかという色んな疑問の声をいただきました。その中で我々が答えたのは、可能性としては、今現時点ですべてありうると、そういう答え方で。例えば白紙が決定しているとか、時期が延期することが決定しているとか、そういう事ではございません。要は、これからもう一度課題等をきちっと確認していく上で、最終的な方向性を示したい、ということでお話しさせていただきました。

○あのね、とりあえずね、30年4月に対しては正直若干延びると、その若干がいつなのかということまではっきり言わなかったけど、若干延びる可能性があります。ということは、はっきり言われましたでしょ。言うてないですか？向こう議事録残ってますよ。それからもう1つ、教育委員会としてはその3つの案の中でも、延びるということというのが一番私らが強く思っていることですね。どれでもええと、そこまで言いましたけど、教育委員会の立場の中では延びるということはあるということ、はっきりあなた、おっしゃいました。教育委員の方ですね、こういう形で就学児童が伸びてきているということに関しては、とりあえずそういう方向で考えないといかんなあ、までおっしゃいました。それは、教育長言いましたね。そこまで言うのに、あなたはすぐにね、すぐに話がちょこちょこ変わって行って元の木阿弥になってしまう。だから私は、あなたに対して皆証明してくれと言ったんです。ここへ来ても全然違うこと言う。基本的にはちょっとしたこともわからんけど、全然違うことです。これに関しては、陽明小学校の方にとってみては、「あつ。わからないなあ。」「3つのことわからないなあ。」そやけど、教育委員会さんは、その方向で私も考えております。いうことまではっきり向こうでおっしゃいました。だから期待してる訳なんです皆、ね。それをあなたは3分の1や。とか何やとか言うてる。あなた自身も結局一番は、延期するのが妥当かな。と教育委員会の立場としては思っておりますとまで、おっしゃいました。それをここへ来て3つのうちの1つやと。ほな、30年4月から必ずするんかということがまた、復活してきますよね。ちょっとそこらへんのあたりが本当にわからなくなってくる。

→いえ、あのご指摘いただいている意図はすごく理解しております。で、何度も同じ繰り返しになってしまうかもしれませんが、教育委員会として、今の考え方というか、そういったこともお示ししましたけれども、それは必ずしも決定されたことではない、という所だけは、確認しておきたい、という事です。ですので、まあこんな言い方をして、大変失礼なんですけれども、言葉の使い方のうんぬんで少しニュアンスが違うのかな。という

○今の説明では、30年4月からする可能性もあるということは、考えてはる。あの時の説明では、

3つのうちやねんけど、教育委員会としては、その方向はいちばん妥当なのかな。と思てますとまでおっしゃいましたやん。

→あの、言われていることはよくわかります。

○言われてることは、それだけしか言うてなかったですよ。

→いえいえ、だからよくわかってますけども、それを決定したということは、

○ですから、それに関しては、何もあなたは決定するとは言っていない。教育委員会としては、そういう方向性が一番無難かな。と思っておりますので、はっきり言いはりましたよ。

→ですからそれは、決定ではない。

○ないですよ。その方向で言うた。という事くらいは言うたと言ってくださいよ。決定でなくても。それを言うてください。

→わかりました。理解できていなくて申し訳ない。

○それに対しては、ちゃんとそういう議事録のほうにもビデオにも残っているからね、その時その時のことを言うたら、おかしな話になるんでね。本当に子どものことを思たら、やっぱり、両方もあってもいいというのが私の考え方ですもん、本当に。ほんで、とりあえず5年後なら5年後、見直しでもいいんですよ。はっきり言うて。10年後でもいいんです。このまま1年2年過ぎ、3年後4年後になったら、人数が減ってきているんだといや、その時考えたらいいんですよ。今のところは様子見たいと言うんだしたら、それ一旦それに対しては、延期させていただいて、5年後に見直します。とか6年後に見直しますとか、いま小学校1年入った子は6年までやるとか。それで6年後見直しますとか。その位はあってもいいんじゃないか。と向こうからも言われてましたやん。その時に。以上です。

<在籍 保護者>

○1回目2回目ちょっと参加させていただいてないので、この冊子についてのですね、1回目2回目の問題点が何が上がっていたのか。何が解決しそれに対して見直しがされたのか。今回、何が問題となって何を持ち帰るのか。そして何を検討しようとしているのか。ちょっとわかりやすく説明していただけるとありがたいんですが。

→こちらの資料なんですけれども、これまで第1回目、第2回目で考えておったことを前提に作っております。従いまして、今日こちらに寄せて頂いたときは、第1回目、第2回

目と状況が変わってまいりまして、そもそも第1回目第2回目で決定で良いのかということの中で改めて考え直したわけです。それはつまりどういうことかということ、こちらの子どもの数の推計であるとか、推移ってというのが、26年度時点での統計でございます、で、昨年27年度の統計とそれから28年の統計、27年統計は第2回の資料に、ホームページにも載せております。そして、28年の統計なんですが、この5月の第1週目に出たところで、今それを精査中なんですけども、すなわちグリーンハイツでどのようなことが起こっているかという事で、担当としても、きちり今数字の動きをみているんです。で、そこで何があったかと言いますと、統合について、校区審議会に出した結論、30年度統合31年度統合って言った左の部分ですね、重要な要素であった単学級、これが出現するのが、もっと遅い年度と違うかということがわかってきました。従いまして、そうだとすると、この年度に、統合するのは、実状理由がないというか。そういうことも考えるし、さらにもっと言いますと、住民の皆さん同士で、色々話し合っていたかについても、今の状態については、決して良い状態だと考えておりません。で、そんなこともありまして、第1回目、第2回目までは今日でおしまい。お話をしません。というような、そういう様な姿勢でしたが、そうではなくって、次の第4回目以降も十分話し合う時間をとりたいと、そのように考えております。非常に失礼な答えで申し訳ないんですけども、以上のことから申し上げますと、統合理由であった単学級が30年度に出現しないというような事になれば、最初に言っている内容というのは、必然的に遅れてくるのではないかと、担当としてはこのように思っております。

課題なんですけど、一番ご心配なのは、やはりどちらのケースについても通学路が遠くなって、しかも今のご時世ですから危ないことも多いんじゃないか、ここを教育委員会はどうか考えてるんだというお叱りを受けてます。実際に何らかの手立てを打とうとすると予算確保が必要であるんですが、これは今の段階では、統合がもし延期になったりするとですね、29年度の最中に予算化する必要がなくなりますので、予算には出てこない。もし30年度統合するとなれば、29年度、新年度予算で予算額として市議会にたてる必要がある。こんな流れになります。そういったことから、今の段階では、そういったことを実施するかどうかを含めて、今日の時点ではちょっと時間をください。ということで延期になっています。それから、もう一個課題にありました、課題の4番です、手元資料の5ページ、それから6ページですね。あまり一貫教育であるとか、そのあたりのことについて書いてません。それも含めて実施年度がずれることが予想されますので、こちらの資料については、第1回目、第2回目の踏襲をしていますけど、そこらあたりについても十分考えさせてもらいたいと思います。もう一個、3ページ具体的日付が出てますが、公共施設再配置に関する計画で、協議を28年11月頃からスタートと書いております。これも第1回目、第2回目までは、この予定で考えておりましたけども、今言いました通り、ちょっとお時間いただくということになれば、変更になってくると。そのように考えております。これで答えになってますでしょうか。

<地域の方>

○一年近くかけて、この問題と対峙しているというふうに理解しておるんですが、その進め方と言いますかね。地域への説明の仕方というのが、非常にわかりにくいと。今、子どもたちが少し増えるので、単学級がなくなるので、少し延びる話がありますけど、それはどうなんですか、大きな問題ではないわけですか？大きな問題というのは、子どもたちが、日本の人口が減っている、すなわち地域の子もたちも減っているという様な環境にあるというようなことで、押さえなければいけないんじゃないかと思うんですよね。それが1点。それにそれから市の組織、あるいは教育委員会というのは、私たち受ける側はですね、そこに並べたら市の代表としてきてもらってるとこういうふうに理解するわけですよ。教育委員会が言ったことが、その市の行政の際の話になっているとか、2つありまして、これまでに言ってきたことは、教育委員会が言ってきたんです。そんなんは受ける側はどちらでもいいんですよね。そここのところはやはり素人にもわかりやすいようにしてもらわないといけない。それから午前中、私も参加しとったんですが、陽明小へ誘導したことに對して、申し訳なかったみたいな話、ホームページ問題があったという話。そういうことがあってはなりませんよね。午前中の話も「すみませんでした」と言ったら済むんか。と言われてましたけど。その通りですよ。だからもうちょっと基本的なことで、しっかりしていただいて、皆さんが言われる話は正しいですよ。正しい中でこの地域あるいは川西市としてどういう答えを導いていかないといけないのか、そこはぶれてもらったら困るわけですよ。私はコミュニティを担当していますけれども、この地域、まさに高齢化が進んできてますから、なんとかそれを改善する手立てはないかということ、そんな大きな知恵はないですけどね、皆様と共にですね、必死になって考えていこうとする矢先なんですね、それがぶれまくっては、非常に困る。地域にとって困ると。なぜその28年度で見直した時に子ども達が増えるんだという話になるんですか。今のよう、あるいは午前中のような話、大きくなるんだということは、全体としては変わる話でしょ。それを踏まえたら、私の考え方を申し上げますと陽明でも緑台でもいいんですよ。ポイントはこの地域が、若い人たちから選ばれる地域にしなあかんという考え方なんですよ。で、先を見抜く力というのは、そんなに持っておりませんけどね。これが、この地域が小学校、単クラスの小学校を確保することによって、地域がますますさびれていくようになっては非常に困るということもありますし、そこは教育においては皆さん方がプロですから、これはこうだという形ですね、しっかり地に足つけて物事を考えているというふうな形で、是非してもらいたい。皆さん陽明、緑台の方々でしょ。そりゃあ賛成する人はちゅうのは、ほとんどいないでしょ。なぜか。遠くなるから。けども、この地域にとってはこれが一番の選択肢やみたいところがあるとしたら、それに基づいて、答えをまとめていかななくてはならん。とこういうことになるんでしょかね。だからぶれないでいただきたい。この辺は。はたまた、これはなかったことにしよう。という白紙という話、言葉として出ましたけどね。1年かけて何を考えてきたんかということですよ。あるいは生徒の数うんぬんで答申の時とちょっと違う。それが2倍も3倍も違ったわけじゃないでしょう。私は思いますけどね。質問にはなりませんけど、私今日午前中行かせていただいて、まあ皆さんの話をお聞きしましてね、そういうふうに思いました。

→ありがとうございます。他ご質問やご意見はよろしいでしょうか。

<地域の方>

○今度こそは、簡単に行きます。ひとつはですね、先ほどの3ページのところで、この統合した場合の学校規模、それと生徒数とかをですね、29年度以降は推定だとおっしゃいました。で、この所はですね、いろいろと皆さんの話を聞きますとね、30年頃には、自分の家族の誰々が、知人の誰々が来るとか、そういう話が非常にまあ多いんですね。ですから、ここの推計のところをですね、もう少し具体的に調整してもらいたい。例えば記名式で、私の息子が平成30年に1年生に入りますとか、それから、私の知人の誰々さんの孫がいる。その辺の推計をもう少し具体的に出してもらいたい。という事が1つ。

それからもう1点はね私、今回3回目初めて来たんですけどね、なんかね、基本的な所で、私ね実は国崎クリーンセンター、一市三町のゴミ処理所ですけども、そこはもう当初から委員をやっ
てまして、非常に初期の状態の時に酷似してます。教育委員会の方もね、もうひとつポリシーがあるのかなという感じではございます。われわれ住民もですね、まあ色々な意見あります。そ
やから、是非ね、もうちょっと時間をとって一回ね、討論会をやってもらったほうがいい。教育委
員会主催のね。われわれ市民の方も合併を是とするのか否とするのかということで、やっぱり討論
会、あんな意見がこんな意見がというのがありますので、理解を深めたいというふうに思います。
その2点です。

→ありがとうございます。先にちょっと答えさせていただきます。統計の出し方です。ご
指摘の通り、今までの統計の中に入ってない要素が今回の要素だと思っております。従い
まして、ここ改めて出し直しする時には、きちっとその成り立ちとか、どういう根拠でこ
うなったかっていうのを説明出来るようにしたいと思います。それまで、もう少しお待ち
ください。それから、討論会の開催ですが、それについては、この先こうやって、今日だ
けで終わりじゃないですよと申し上げている関係もありますから、色々な形で大集会、中
集会、小集会、色々方法はあると思いますけど、やっていきたいと思います。先ほどの緑
台小学校の、一緒に陽明小校区の皆様と一緒にやりたいという方もおられれば、別のほう
がいいというご意見もあります。まず、そういったこともありますんで、具体的にどうや
っていったら、どう運営したらいいのかもちょっと事務局の方でお時間いただいで考え
させてください。

<地域の方>

○午前中出てまして、すごい若い人、とても大事にしなきゃいけない若い人の意見がすごく出てき
ました。本当に歴史のある感じですね、それを市の人は真摯に受け止めてこれからは協議する事
ですけど、私が午前中にも言いました通り、教育委員会のツイッターの中にですね、パソコンの中
に、緑台小学校と陽明小学校は、平成30年度から新学校兼陽明小学校校舎を使用で運営します。
こういうことを書いて皆さんパソコンの中で見られたら皆ですね、ああもうダメだ、これは、陽明

小学校は陽明小学校なくなるね。午前中も言ってらっしゃいましたけど、いいよ。もうじゃあここには引っ越してこないっていう方がかなりいらっしゃると言われましたね。そりゃあそうですよ。パソコンの中にツイッターでこういうこと出せば。それは5月12日更新日5月12日ですよ。そして私が運営委員会、協議会に出たのは16日、その中でも、協議会も行われましたよ。市役所で。それは傍聴しました。そうしますと、12日にこんなんが出来て、それで16日の協議会でではすね、市会議員の人も何人か出てましたけど、市の方は決めてる訳ですから、緑台は廃校と決めてる訳ですから。そしたら黒田市議さんが一生懸命、これは説明会は終わりなんて書いてますけど、終わるんですね。と言われました。そしてこれは決定なんですか。と言われましたら、うやむやに答えてまして、いや一決定ではないんですと。強く黒田さんが言ったから、16日でしたそれが。で、今日言われましたね。色々考えた結果、そういうことに決定ではなく、と今日の午前中言われました。そんな本当に信じられない、あやふやな事を言って欲しくないんです。皆さんはこんなことで、時間を費やすのではなく、市の方がきちっとした答えを持ってこない、いつまでたっても決まりません。今日はもう市をリコールすると言ってましたね。裁判もすると言ってましたよ。若い人は。本気みたいですよ。本当に。後で聞いてたので今遅れてきましたけど話してまして。そうなる前に、新聞沙汰になる前に、川西市はいい街だと言うような事が出れば、キセラも出来、いい街だということになればいいですけど。伊藤龍太郎さんも新聞沙汰になって川西市はよくないと言われました。その当時、だいぶ前ですよ。それから、柴生さんも裁判になり神戸地裁でかなりやりました。今度大塩さん、どうでしょうか？2年で辞めるというような評判があります。2年で辞めるならきれいに、汚さないで、鳥は濁さない。こういう気持ちでやって欲しいです。それを辞めるからいいわというような気持ちではなくて、それも辞めるなら30年の3月過ぎに選挙がありますから、こういうこと統合統合で一体化した、そういう気持ちがあるんじゃないかと思われるような節があります。それから、差別しない、させないというのが教育委員会の教えじゃないですか？生徒に教えてるじゃないですか。それを差別してるじゃないですか。さっき言われました。私が協議会に出た時にクーラーの設置、事業費クーラーの設置を14校は入れてました。陽明小も入ってました。クーラーの設置を緑台小学校と松風は抜いてます。表に。そんな差別をしていいんですか？大人が。そんな町ではね、川西はよくなりません。大人が見本を見せないで全部、大きな会社も潰れています。リコールされて、裁判される前にきちんと見直してください。大塩さん。私はいつも大塩さん来てくださいます。伝えて下さってるんですかね。それも、ちゃんと伝えてくださいよ。

それから、先程言われてましたけど、一緒に説明会をする方がいいと思いました。午前中と午後、こんな午後の説明会、のらりくらり、また同じことを言ってらっしゃいます。教育長さん達みんな。午前中、あれだけ言われましたね。さっきの方が言われました。午前中と違うんじゃないかと。ほんとにそうですよ、延ばすって言われたじゃないですか。はっきりと。信頼できないから、白紙撤回もちゃんと証明して書いてくださいって言われましたけど、それもしてらっしゃいません。そういうことで、いいのでしょうかね、ほんとに。

そして、川西市は大塩さんになってから、午前中も言いましたけど、住みたい町下から二番目です。尼崎のほうが上なんです。尼崎のほうが開発されています。すごく駅の周り、よくなっています。そして、教育がいいんでしょう。市長さんがいいんでしょう。ですから、川西は抜かされました。住みたい町。下から二番目、大阪府で。全部で。寝屋川が一番下。そういう町になっていいんでし

ようか。住みたい町にしてください。ですから、よく考えて、流さないで、舛添さんみたいにならないでくださいね。川西がまた新聞沙汰になったら、ほんとに大塩市長さんも新聞沙汰になって、テレビに出るようになったら困りますよ。川西にもっと来ませんよ。みなさんが。増えませんか。いい街にしようと思っても。そういうことです。よろしくお願いします。

<地域の方>

○午前中も出させて頂きましたけれども、個人的にはいろんな思いがございしますが、やっぱり一番忘れてはいけないのは、中心にすわっているのは子ども達だということだと思っんですね。今回の、少し時期をずらす、もう少し時間をくださいっていうふうに決定されたことは、ほんとに揺らいでもらったら困るんですけれども、いい方向に動くのかな？と私は評価をしております。ただ、その狭間で今年の春1年生で、ほんとなら緑台小学校に行くはずだった方が、何人かこちらの方についていう話が出てましたけれども、そのへんが事実関係、私が個人から聞いた訳じゃないので、よく分かりませんが、もしそういうことがあったらね、ほんとに大きな責任問題だと思います。今大事にしないといけないのは、今子どもにとってどうなんだということであって、この街の活性化が一番ではありません。この街の活性化ももちろん求めてます。だけど、子どもの事を忘れちゃいけないと思います。だから、そのあたりをね、ほんとに子どもの事を中心に考えて、大塩市長がどうだこうだいろんな思いがあると思います、でもほんとに子ども気持ちを考えて、みんなでこの問題は一緒に考えていきたいというふうに思います。教育長さんよろしくお願いいたします。

<地域の方>

○実はね、私は二回目の説明会の時に教育長から、この中学校が全国でもトップレベルであるということお伺いして、ああやっぱりそうかと。で、ここの中学校がトップレベルということは恐らくその二つの小学校の教育が非常にいい状況であったと思っんですよ。でね、恐らくここの今の環境、そして小学校の教育レベルが非常に安定した、本当にいい町であると考えています。その状況を是非守って欲しいなというのが、率直な気持ちなんです。

で、この春ね、1~2名少なかっただけで、緑台小学校が1クラスになったわけですがけれども、これもね、午前中、申し訳なかったホームページ訂正させて頂いた。そんな簡単な問題じゃないんですね。本来だったら2クラスで、十分な教育が出来たのに、市の、まだ決定していない事をもとにホームページ等で、あるいは意向調査、この意向調査も大いに間違っていると思っんですけれども、その結果何人かがこちらの小学校の方に移ってきたという状況があるんです。だからやはり行政というのは、そういうことはやはりして欲しくないと思っんです。でね、現在ね、私調べたんですけれども緑台1丁目・2丁目・4丁目、6件に1件が新築が建ってるんです。ところが、ホームページを見た人は、かたっぱしから来なくなってます。ただ、なぜ家が建ってるかと言えばですね、その家の広告を見たら、緑台まで何分と、あるいは向陽台のマンションも同じことを書いてあります。緑台小学校まで何分とね。だから、知らない人はほんとに小さなお子さんを連れて緑台どんどん移って来ておられるんですけれども、去年あのホームページを見てほんとにびっくりされていた

のが現状で、あのホームページを見てですね、自分の仲間が6人も、他の市に、やっぱりここへ移って来るのことは止めるというような状況が生まれています。やはりね、先程、ホームページは間違いでしたと言われますけれど、この間違いが街の活性化に大きくマイナスになってる訳です。やはりそのへんの事を是非考えて頂きたい。それからね、簡単に最初の説明で人口減少時代と。本当にそうでしょうかね。と言いますのはね、先進国の中でね、徹底した子ども政策とかね。あるいは、女性のいろんな地位の問題とか、やっぱり伸びている国というのは、いっぱいある訳です。なぜ、日本がそういう状況かと言いますと、やっぱり残念ながらG N Pの中で教育の占める割合がですね、一番低い国なんですね。だから、単純に人口減の時代やから、何年か先に単学級が出来るか？そんな発想ではなくて、これから今の日本の一番の課題はね、間違いなくやはり子どもを増やしていく事です。子どもは宝です。そうでなかったら、この国の根底が歪みます。だからね、人口を増やす事。それはね、何も国だけのレベルじゃなくてね、川西市も非常に大事な今時期にきてると思いますよ。と言いますのは、今阪神間はね、年によって激しく競争してるんです。人口が増えてる所もあれば、川西市のように人口が変わってない所もあるんです。あるいは、人口減少の所もある。ところがね、この街は持つて条件はほんとにいいんです。と言いますのは、特急も30何分で梅田まで行きます。あるいは、この緑、この水の美しさとかね。でね、川西の中でこのグリーンハイツは、非常に大きく街の発展に貢献してきた街やと思いますよ。これは、清和台も全く同じです。大体ね、都市計画をきちっと業者をだして、この六十万坪の宅地をね、開発するにあたって、ここに公園が必要になる、ここに小学校が必要であるとして、開発してきた訳ですね。だから、基本的に緑台あるいは、この辺りに住んでる人にとって、小学校というのは基本的なその権利でもある訳です。こう言ういい方をしておかしいかも知れませんが、一つはね財産権的な。即ちここに住んだら、10分ぐらいの所に小学校があるという事は、非常に我々のその土地の価値も含めて重要な意味をもってるんですね。午前中も私言いましたけれども、小学校というのはやはりコミュニティすなわち、街のですね、活性化の中心になってるんですね。例えば、文化祭にしても、運動会にしても単に学校がやってるんじゃなくて、みんな楽しみにしている部分があるんです。それによって地域が絆を強めているんですね。その中心になってる学校を無くすという事は、どれほど大きな打撃を地域に与えるかということ、是非考えて頂いて、今ね本当に緑台辺りではですね、ほんと1軒ずつ見て回ったら、6軒になると1軒が全く、今までの門構えのある家でなくて、ポストが立ってて2台ぐらいの車が停められる、そういうタイプの家が増えてるんです。だから、こういう状況のなかで明らかに、いったん小学校というのはなくしてしまったら二度ともどれません。だから、やはり慎重に是非考えて頂きたい。以上です。

<在籍 保護者>

○午前中も出させてもらったので、きっと前向きに私たちが望んでいるようにこれから考えていって下さるんだろうかと、期待してるんですけれども、やっぱり私達、陽明小学校の説明会にしても思いますが、今この地域で、小学校が統合するということをやったり地域住民も保護者も願っていない、希望していないと思います。それを本当によくよく考えてこれから、お時間くださいと言われましたけど、是非前向きにこの私たちの意見を反映させて頂きたいなと思います。

で、1つ、お伺いしたいんですけど、国で出してる統合の基準というか、小学校・中学校の統合を考えなければならない、基準が、小学校では6学級・中学校では3学級つまりすべてが単学級になった時に、統合を速やかに考えましょうというような方針が出ていると思うんですけども、今川西では、まだ2クラスずつあるし、1クラスがようやく出てくるかっていうぐらいの時期だと思うんですけども、なぜ今統合とお考えになられるのか、それを聞きたいなと思っています。

→この統合の話が出来た過去の経緯からご説明します。今は基準というか、時間をくださいと言ってるぐらいですので、すべて同じ状態ではないんですが、当時どう決めたかといいますと各学年で単学級で出来た場合、その6年生っていうのは、おおよそ5年間から6年間単学級でずっと暮らしてきて、いきなり単学級ができる事は転出がない限りないんですね、そういうことになると、5年生については4～5年、4年生についてはまた3年ということで、その期間経過的に単学級をずっと経験されてる、その影響がですね、当時のその文部科学省の良し悪しの、良い点も悪い点もあるんですよ。そういうふうな選別の中では、非常にリスクが高いと読み取れましたものですから、そうすると一定の年度、スタートする年度ですね、単学級が発生するかもしれないところで、早めに手を打たないとあかんだらうというようになって、実は26年統計で30年度スタート、あるいは31年度スタートという踏ん切りをつけた訳です。ところがその頃と動きが変わってきたので、以前のような判断基準にはならないだろうなと感じております。

<在籍 保護者>

○午前中に緑台小学校の時に牛尾さんに質問して、その時お答えにならなかったんですけど、ホームページに載せてしまいましたよね。それで今、陽明小学校の方に行かれてるお子様たちの保護者の皆様や子どもにはどのような説明を、責任をとるのか、お聞かせ願います。決まってない事項を載せてしまった事によって、私たち緑台小学校地区のみんなはほんとに混乱してます。その責任は、とってもらわないと困ります。やっぱり。なので、緑台小学校の時にも言いましたけれども、お答え願います。

→ホームページの方に載せてる分ですね。実質、その時に教育委員会の方針、決定事項として確かに載せさせてもらいました。その中で希望をとらせてもらったことも事実です。その中でおっしゃたように何名かの方が、陽明小学校に来られたという事実もあります。その中でですね、今の段階では、ほんとに責任も感じておりますし、それについてですね、その方々に対して私の方から実際にお話を聞かせてもらって、その方々に対しての声を聞いて、ご本人の考えも聞きながら、教育委員会としては、対応していかなければならないんですけども、実質結果的にはこういう形になったことに対しては責任を感じておりますので、ご本人の方々のご意見とかお考えを聞いてですね、今後どう対応していくかという事も進めていきたいなと思っています。

もう一つは、全体として確かに方向性を一定の決定事項として、進めていきましたんで、

他の方々にも当然影響を与えていることは事実です。そういう面では、そのの方々に対して何らかの形でですね、お話をさせてもらって、そして、今の状況を変えられないかもしれないけれど、こういう状況についての進め方というものをもう一度お話をさせて頂きたいと思っています。それと同時にですね、先程31年の、30年の4月にもってうんぬんで、担当者の方が言いましたけれども、現実先程おっしゃたようにですね、緑台の方の特に緑台小学校の校区の方が、確かに少しずつ増えていってるという現実、教育委員会としてもですね、ここ数年、例えば31の場合ですと3歳児ですから、その時での実質は、44人ぐらいおられます。そうすると、その方々が4歳から5歳、3歳から4歳・5歳になられた時にその学年で入る可能性もあるということも含めてですね、これから先というものは、基本は住民基本台帳をベースにして推計を出してるんですけど、それにのってですね、毎年何人かずつ増えてこられてる、という現実もあります。それは、先程おっしゃた方と同じなんです。そういう状況を把握したうえで、今回30年において統合することについてですね、一定の状況というものが、もう少しそういう推移をみていく中でですね、再度今後の説明会を開かせてもらった時にお話をさせてもらいたいなという事を、緑小でもお話をさせてもらいました。その中では、白紙のこともおっしゃったんですけども、連日、そういう状況は、大きいところにもしかしたら背景にあるかもしれないんですけど、現実的にはですね、今の30年4月という状況からみると単学級に限りませんけれども、両方の学校に単学級が出て、その可能性がずっと続く可能性が出てくるという事も考えますとね、そういう状況が現段階では、近い将来のあいだでは難しくなるという事もありますので、そこはちょっと理解していただけたらなと思っています。

<在籍 保護者>

○30年の4月は、一旦中止ですね。今のそういう状況を考えた時、単クラスにならへん訳ですから、はっきりわかっている訳ですから、一旦もう廃校になったら、後復活するとかはまず無理だと思いますんで、30年の4月に関する分は、もう取りやめという形で、はっきりと申しあげてください。言ってください。そして、ホームページにも広報誌にも書いてもらわないと、みなさんこのままの動きだと、もっともっと騒ぎが大きくなります。はっきりとそれは、分かってる事は分かってる事で、そういう状況を全部説明して、将来はこうなるかも分かりませんが、一旦30年4月に関してはそういう予定、単クラスなれへんわけやから、基本的には延期しますと。今後の事に関して、また住民のみなさんの意向も聞きながらやっていきますという形でホームページの訂正をお願いしたいし、ホームページを見ない人もあるから、広報誌にもそれは絶対書いてください。で、こういう動きがあるというのは、市議員さんはやっぱり来てるわけですから、こういう事も含めて全部そういう形で検討してください。

→一番最初にも申しあげましたけれども、そういう可能性を秘めながらも現時点ではそうなるということはこの場では決定事項としては言えませんので、早急にそのことについては、検討してまたホームページに掲載させて頂くということで、少なくとも現時点では、

そのことはまだ決定していないという事で、ご理解して頂きたいと思います。

<在籍 保護者>

○もっと言ったらね、この地域のためには松風幼稚園を廃園にしたという事も、すごくマイナスになったと思うんですね。この地域が子どもたちが増えていくかもしれない、これから。そして緑台よりも陽明小校区の方が人が入りづらいんだったら、余計にあの地域に松風があった方が良かったと思うんですけど、今まだやってますよね。松風幼稚園。それは、

<地域の方>

○まだ決定していませんよ。統合も。決定事項のように言いますがまだ決まってませんよ。

<在籍 保護者>

○決まってないですか？松風幼稚園も？まだ存続という可能性も残っているのでしょうか。

<地域の方>

○存続を希望するといわれています。そういうこと言うから皆さんがよその幼稚園行ってるって聞きました。民間企業だったら教育長くびですよ、言っときますけど。

<在籍 保護者>

○すいません。続きですけど、今現在1年生が単学級になってしまいました。ほんとは単学級じゃなかったはずですよ。その責任をどうとられるのか。ホームページとか、紙で誘導されましたよね。そのことによって、私たち緑台小学校の1年生は単クラスになってしまったんです。35人。後1人いたら2クラスだったんですよ。ほんとは2クラスでした。PTAもすごく困ってます。はっきり言って。全校生徒だって、1年生が1クラス、ええーって感じです。その責任は牛尾さん、その責任は？行った子どもですけど、単クラスになってしまった小学校の責任はどこですか。あなたたちが、ああやってホームページ変えて書いたことによって、そうなってます。その責任は。追及します。以上です。

<在籍 保護者>

○親しい友人がほんとは緑台小校区なんだけど、すごくすごく迷った結果、陽明小に通わずことになったんです。1年生のお母さんなんですけど。すごくすごく、ほんとにすごく最後まで悩んで決めた結果、陽明小に通わずことになって、今こういう事態になって、多分、すごくどうしていいのかわからない状態になると思うんですね。なんか私もそれを聞いて胸が痛いし、ほんとに悩んだ結果だったから、ちゃんと責任をとって欲しいし、地域の方にもそういうことを理解して温かく見守ってあげて欲しいなって思いました。

あと、松風の話がさっきちらっと出たので、ついでなんですけど、ほんとに一旦無くしたものはそんな簡単には出来上がらないので、幼稚園に関してはこないだの説明会で、幼稚園は義務教育じゃないからって言われちゃって、なんかすごくつらい思いをしたんですけど、ほんとに公共の、公の教育機関ってというのは、残しておいて欲しいと思いました。以上です。

<地域の方>

○こんなたくさん大きな問題が出てきたのは、やっぱりすごくあせて教育委員会が提案をなさって、本当に重大な事をたくさん見落として、大きな問題になっているんだというふうにすごく感じます。で、やはりね、ここは牛尾さん、白紙撤回を検討していただけますね。検討でいいです。検討していただけますよね。

<地域の方>

○教えてください。今の言葉に対して回答してください。先ほどから申し上げてますけど、事務局の左から3番目の方、全然違う事ばかり言ってる。次に次に変わってる。あの方は、もう答弁せんでよろしい。さっきの3つの中でも、やっぱり牛尾さんは、とりあえずそういうことも前向きに検討しましょという形の中で、19日に会議になってたわけですよ。なのに3つのうちの白紙撤回、このままいくかもわかりません、順延ですと。この3つの内の1つですと今はっきりいいましたよね。そんなこと緑台では一言も言ってなかったですよ。間違ごうてること言いなさんな。あなたもう喋らなくていい。牛尾さん、教育長に聞きたい。やっぱり、ここまで人間が増えてきている、ある程度単学級なれへんのやったら、牛尾さんもここで結論がどうだこうだ言っても、出せるはずですよ。みんな来年の事、ああしよう、こうしよう、みなさん思ってる中でね、気持ちの整理を牛尾さんが出しておられるのに、他の者がね、引きずりおろしている。違うでしょう。牛尾さんはやっぱりね、ここは教育長やと思うわ。やっぱり、みなさんの意見を考えて、重大な決定を考えてくれたと思うんです。緑台小学校特に大きな提案を出したと思うんです。それをね、横から下から、違います。3つのうちの1つです、まだ分かりませんが。そんなことを向こうの方で言ってなかったと思いますよ。はっきり申し上げて、順延の方が無難でしょうねとまで、はっきり事務局として言いましたやんか。それをこちらでは、3つのうちの1つです。即時30年の4月の可能性としてはありますよ。そんなこと、向こうで言うたら吊るし上げにあいますわ、あんだけのみなさん懇願して懇願して言われたんです。だからあなたは信用できない。牛尾さんから、私は温かい話の中でそういう方に、検討しております。ホームページもそういうふう書き直しますとゆうてはんねんから、その通りしてください。もう一度、牛尾さん、確認の為にその事をお願いします。みんな混乱してますよこのままだったら。

→現実的に考えて、おっしゃる通りよくないです。その中で、白紙撤回となると今までずっと協議会としてですね、取り組んできた中で、一定の状況の中で厳しい状況、本当に統廃合よしと、みなさん思ってる訳ではないし、私達も教育委員会としてもですよ、ほんと

に統合することがすべてであると思ってやっている訳ではないんです。ですから、ほんとに緑小にしても陽明小学校にしても一定の人口の方は、子ども達は推移して本当にそういう状況にあるんだったら、この統合の問題は出てこなかったと思います。現実ですね、人口のなかで、その当時26年推計を取った中にですね、やっぱり、0歳児にしても見た中で、やはり単学級に近い将来出てくるだろうということで、確かに推計は動きます。0歳児の状況は変わりませんが、転入の方々の状況というのは、年ごとに1歳・2歳・3歳学年が違ってあるわけですが、そういう中ですね、少しずつ増えてきた状況というのが、少し推移の中にみえてきたという事を先にお話しさせてもらって、その中で将来的には、確かに向こうでお話をしましたけど、30年4月というのは難しい状況というのは踏まえて、でも今の段階ではですね、今の段階ではここと統合する、そしてここでも陽明小と行いますと、30年4月をもってという事を基本原則としてですね、お話をさせてもらってる中で、今回のこの説明会の中でですね、結果的には今の状況で児童数、それから学級数、そういったものが少し増えてるということは、いろんな方々から聞きましたし、実際に教育委員会として調べて、そういう状況がありますんでね、そういう中では延期も含めて30年4月以降のことも、起こりうる可能性も大きい、そのことも含めてですね、もう一度次の説明会までには、実施する、そういう状況もですね、一緒に議会の方をお願いをして考えていく中でですね、改めてしかるべき時期には説明会をもたせて頂きますという話をですね、したんです。

<地域の方>

○3時半には、住民に白紙撤回検討するという事をおっしゃいませんでしたか？最後になんとおっしゃいましたか、緑台小学校で最後に。

→白紙撤回の事は、そういうことはあるかもしれませんがね、

○そういうことはあるかもしれないということですね。

→実質は、現実的に、今の教育委員会の考えも話をさせてもらいました。白紙撤回の言葉がいいのかは別にして、実質はこういう状況がずっと続けばです。続くことが見通しとして出てくれば、そういう事もありうるという事はあります。ということをお話させて頂いたと思います。

<地域の方>

○午前中から同じような事ばかりを言ってらっしゃいますけれども、若い人を大事にしなきゃいけないんですよ。若い人の意見を聞いて、おんなじことをさっきから言ってました。午前中も私ずっと聞いてますけど、それでは何の解決にもなりません。ですから、もっとしっかり考えられて、教

育委員会、さっき女性の方がどうやって責任をとって下さるんですかって、言われましたね、2回も。その責任をとるという事は、会社では社長をやめることですよ。大塩さんか教育長の牛尾さん、辞めることなんです。民間では。テレビを見ればわかります。三菱でもスズキでも、どちらでも。そうじゃないでしょうか。じゃあ、ぼくは責任をとって違う人にしっかりやってもらいますというのは、教育長じゃないですか。みなさん、それを望んでるんだと思いますよ。もっとしっかりした人を。よく考えて。

それから人数ばかり言われますけどね、そう違うっていわれましたでしょ、午前中でも。子どもの心ですよ。心が大事なんですよ。ほんとに心を考えてますか。そんな腐った心では、子どもも成長しません。伸び伸びと成長しません。ほんとに考えて頂きたいと思います。

それから、先程も松風も決定してるんだって出て、認定子ども園も、この中の議員の人にも言われました。認定子ども園は決定してるよと。どういう事ですか。私が一生懸命立ち会って、5月1日から300人以上も皆さんに協力を募ってます。署名を。まだ、取ります。これからも取ります。そんなね、市議員の人がね、決定してるでしょって言われてビックリしましたわ。どういうことですかね。だから川西市は下から2番目になるんですよ。住みたい町の。寝屋川が一番下で。よく考えて頂きたいですね。教育長さんもね、さっきどうやって責任とるんですかと言った、裏の心には、大人だったら分かります、誰でも。皆さん、会社では責任とって、次の社長を出したり、副社長も出してます。そういう事だと思います。

そして、私が今、認定子ども園危ない、危険なカーブで人命に関わる事です。合併よりもっと、合併は命に関わりません。第3自治会館の横のゲートボール跡地、狭い。あんな所にですね、人命の関わるものをつくって、みんな反対されましたよ。こんなところは、危険だ危険だ。こんなカーブの所にと言われてます。私は一生懸命みなさんとやっていますから、また市の方に出しますけど、考えて頂いて。認定子ども園、松風幼稚園も決まっていますよ。8500人の重い心を、住民の署名を考えてください。選挙の時は、どうでしょう。一票でも一生懸命、皆さん選挙、お願いします。お願いします。言うじゃないですか。そんな思いとは違いますよ。この川西市、グリーンハイツを良くするという事は。教育長さん、責任とってくれというのは、どういう事か分かっていると思いますが、さっきの女性の方もそれを言いたいんだと思いますよ。私ははっきり申します。そして、認定子ども園と松風幼稚園は、決定してませんのでホームページには、載せないでくださいよ。まだこれから検討、私はいろいろやりますので、ホームページには、載せないでください。よろしくお願いします。白紙撤回もお願いします。

<地域の方>

○ホームページの方で取り合えず決定というかたちは削除する、お詫びと同時に文章を掲載するとおっしゃいましたよね。そうした時に、30年4月に関しては何も触れなくて、どうにかたちにするんですか？ただ、緑台小学校は変わるということだけは、ちょっと一旦待ちますということでしょうか？それとも、30年4月はそのままでおいとくんでしょうか。そこらへんの辺りをはっきりとやっぱりやって頂かないと、ほんとにこれからの事を考えた時に、ぞっとします。ちゃんと、それに対しては取り合えずこの分、この期日に関しては未定というのを、はっきり書いてください。

それから、廃止するなり、順延するなり、10年後に決め直すなり、いろんな事考えて検討してください。お願いします。これがほんとの私、牛尾さん教育長さんの良心だと思います。

<在籍 保護者>

○朝も私出ていてまして、自宅からここまで20分かけて歩いてきましたけど、子どもにそれをほんとに毎日やらせるのか、っていうのを歩いてきて痛感しました。で、あなた方は車で5分に来て、時間押してたのもあるんですけど、来たんでしょ。折角のチャンス、歩いたっていう方今日おられますか。車で来たんでしょ。まず、それ教えてください。牛尾さん。

→車で来ました。

○何故、折角のチャンスを、押してたとはいえ歩かなかったのでしょうか。それも、お答えください。

→こちらの会議も大事だと思って、車で来ました。

○会議よりも大事なのは子どもの事を考えることであって、その結果、歩いてきました。やっぱり大変だったんで、撤回しますとか、歩いてきてこれやったら、子どもでもいけるといいますと率直な意見。そのチャンスをわざわざ逃した理由はなんでしょうか。

→今回はね、確かに私、車で来ましたけれども、実質は、ほんとに緑台の7丁目の3番地とかですね、そういった所からみますと緑台小学校ですけど、ほんとに遠い所から、今でも遠い所から来られてる方もおられます。そういう面では、あの陽明小学校に関係なく、今おっしゃった通り実質歩いた中で、子ども達の事はよく分かりますので、そこはまた、別のかたちですね、交通機関のことも含めて対応していきたいなと思っています。私自身は、ほんとに子ども達が1年生、低学年の子どもだったら確かに、ほんとに全体としては、2.5kmぐらいの範囲の中になりますけど、坂がありますからね。それに対しては、もし統合したとしたらその時に低学年に対しては、バスも含めて対応出来るようにとは考えていきたいと思っています。

○後、最後にちょっと長くなるんですが、1点ですけど、教育長として今までのご意見を聞いて、意見はどうなんでしょうか。白紙もしくは延期をするっていう方向性を考えられてるのか。いつも言われてるのはデータをもう一回精査してって、データも大事ですけど、子どもの意見、さっき緑台小学校の子は遠くなるって言われてた、後統合で自殺された方がおられるっていう意見も聞いて、それでもやっぱり分からないっていうのが現状の教育長としての意見でしょうか？

→今日こちらの方で、そのようなご意見いただきました。そういう中でですね、現実そう

いう事は、重々、おっしゃったように、認識しております。そういう中ですね、ほんとに地域の方の声、保護者の声というのを改めて聞いておりますし、そういう中ですね、今後の事については、先程言いましたように、もう一度きちっと精査をして、整理をしてそこも含めてですね、そういう状況もあるかもしれないし、延びるかもしれないということを含めてですね、実際に教育委員会として、少しお時間を頂いてですね、そのことについては、またきちっとお話をさせてもらおうと思っております。そういう面も現状に対する課題とか、それからそういった単学級に限りませんけども、子ども達の推移とかですね、そういったことも十分に、もう一度ほんとに考えて、実際に両方の学校にとって、そして全体の地域にとってより良い方向が、どうしたらいいかなということを含めてですね、検討していきたいなと思います。ですから、白紙にするとか、それから統合しますということも含めてですけど、実質現状の30年4月についてはですね、こういう状況にがありますから、そこは十分踏まえてその2つの所については、考えていきたいと思っております。

<在籍 保護者>

○すいません。私質問しましたよね。なんで前に進めていくんですか。牛尾さんに言いましたよね。私は、辞めてほしいと言ってるわけではありません。責任を取るという事は、辞めてちゃんちゃん、という訳ではないんです。じゃなくて私たちのグリーンハイツをもっと繁栄させる方向をもっと導いて欲しいということです。はっきり言って。私たちが陽明小学校に絶対行きたくないと言ってる訳じゃないです。それが、地域の為で、子ども達の為であるならば、私たちは喜んで行きます。でも、あなた達のやってる事はすごく前向きでなくて、後ろ向きも、後ろ向きも過ぎます、はっきり言って。辞める責任よりも白紙撤回に今して地域をちゃんと元通りにしてください。私たちの。緑台小学校も陽明小学校も今までの路線にちゃんとのせてください。3年後に中学校の給食とかを緑台で作るという話がありましたよね。そのちゃんとした路線にまた戻してくださいよ。ちゃんと。それが責任をとることじゃないんですか。

→今、中学校給食については、予算上は1校だけの設定費があがっております。それも含めて、責任という形ではないんですが、この地区が元通りなるように努力するという意味で、何らかの、中学校給食も含めてですよ。我々が出来る、元に戻すための努力は約束したいと思います。ただ、具体的にじゃあどうやってくれるの。何やってくれるの。と言われると今、今日の今日ですので、1つ1つ申し上げる事はちょっと出来ません。例えば、中学校給食は私の所管ですんで、何とかそう言った意味ではこちらにも、約束出来ませんが、まあ対応出来るように方向を考えていきたい。そういう形で今後の予算要求を考えていきたいというふうに言わせて頂きます。予算の話ですから、予算要求したところでつくかどうか分かりませんし、その姿も、この時点で約束することは出来ませんが、おっしゃってる事は重々わかっています。で、ほんとに担当担当で出来る事、それから今回の事で先もって、学校選択されたことに対するご挨拶や、そのあたりも含めて対応させて頂きたい。このように思っております。

→35人になって、そちらの方に動かされたという事に関して、教育委員会としてほんとに責任を感じております。対応については、ほんとに統廃合とそれから全体的な事も含めてですね、この責任をどういうふうにとっていくか、ということに関してはですね、誠意をもって対応したいと思っております。

それとですね、統廃合白紙の事とおっしゃんですが、現実的に今実質子ども達動きとか、地域の人たちがおっしゃたように、元に戻すということがどういう形がいいのかなという事を含めて、教育委員会としてはもともとはそこが減ってくる状況の中で、子ども達にやっぱり最低でも、単学級で子ども達の運動会とか行事関係はなかなか難しいし、一定の集団をもって、教育っていうのは大事だという事を含めてですね、やっぱり、複数学年が続くような状況というものをつくる。そういうふうな街になればいい。決してこういう事は昔は出てこなかった訳ですけど、現実的にですね。将来において単学級はずっと出てくる可能性が高いということがありましたので、そういう中で一つの方向性を出させてもらった訳です。ところが、複数学年が続く可能性があるという事で、30年の4月が延期になる可能性も含めてですね、もしかしたら、それ以上にですね。大きな動きの中で白紙の事をおっしゃいましたけれども、今現状のままの方は良いという事になるかもしれません。そういう事も含めてですね、実質的に検討させて頂いて、次の説明会の時にはお話しせてもらおうかと思っております。ですから、教育委員会だけで決めることも出来ませんし、実質現状、もう少し先、将来も含めてですね。状況を分析したり、子ども達とか地域の実態というものを把握するという事も教育委員会の責任ですから、そういったことを踏まえて、そして市としての考え方も含めてですね。お話を次の時にはさせてもらおうかなと思っております。

<保護者>

○統計の方でとりあえず、単学級が発生する可能性が減ってきてる現状があり、子どもを連れた家族が家を購入したりして、入ってきてくださってる現状があるっていう事であれば、今この松風幼稚園が閉園とか統合の話がでてるとするのは、新しく住もうとしてる人にとってはとてもマイナスな要素になってくると思うので、もし可能性で延期っていうのが、もし早めにもう分かっているのであれば、早くそれを出してあげないとどんどん人は入らなくなるっていうのが現状だと思うんですね。子ども達の教育条件がいいっていうのは、やっぱり家を選ぶ時は第一条件になりますので、そこらへんの所は早く対応しないと、それこそ更なる過疎化をうみますし、それこそ単一学級を更にうむ結果を作りますので、あんまりのんびり構えてられるとどんどん、どんどん悪い状況をつくってくるっていう事実があるのも良く把握して頂きたいなと思います。

<在籍 保護者>

○今回ちょっと見直しを検討して頂くって事で、すごく前向きなことで、ちょっと希望がみえてきた

なという感じはしています。今回これだけややこしくなってしまったのは、やっぱり一番最初にも書かれてますけど、校区審議会答申をもとにされているんですけど、これが実質どれくらいのものであったのかなという、緑小校区の方とか、陽明小から人がいない中での審議をされていて、全然住民の意見を聞かないまま、話をつくりあげてから、説明会を開かれたっていうことは、すごく問題だと思うんです。で、折角ここで見直しをして頂くっていう事ですので、今後の事としては、一方的に教育委員会の方で答えをある程度つくられてから、出されるのではなくて、会話をするというか、そういう事をきっちりと重要視して頂きたいです。

それともう1つは、1・2回目の時に、例えば廃校になった場合には、跡地利用については市長部局になるので別というふうなお話もあったと思うんですけども、その事自体ではないんですけども、あの松風幼稚園の事については例えば担当が違うとか、今回も、教育長さん共通ですけども、その学務課の方とこども未来部とは違いますって事をおっしゃるのかなあって感じもするんですがそういう縦割りっていうのは、川西市の行政側のご希望で、住民側としてはやっぱりグリーンハイツ全体っていう考え方で進めて頂かないと、緑台小学校・陽明小学校どうする？緑中どうする？松風幼稚園どうする？っていうことは1つの流れなので、こちらは教育推進部ですか、学務課さんの方なのでそこは担当じゃありませんってことじゃなくて、それは縦割りではなく、グリーンハイツ全体っていうことで今後、そういう説明会ではなくて、もっと一方的な上から下、トップダウン式ではなくて、話し合っって考えて、お互い持ちよって考えていくような方式をとって頂けたらと思います。よろしくお願いします。

それともう1つ。すぐにはここで答えを出す訳にはいけないってことで、慎重になられてると思うんですけども、先程うしろの方も、おっしゃってましたけれども、やっぱり校区を変える理由とか、引っ越して来られるっていう方に、加速しないようにって事で出来るだけ早く結果をあげて頂きたいということで、先程からホームページっていうお話がありましたけれども、ホームページを見られない方もたくさんいらっしゃいますので、今日もすごく、ほんとの人数より少ない、やっぱり日曜日とか皆さんご都合もあるで、出席されてない方は昨日までの、今日頂いた資料のことで、決定なんだなと思込んでしまわれていると思いますので、ホームページに記載されるだけではなくて、早急に今日の結果を、方向が変わったということについては、両方の学校の方に文章で全保護者に配って頂いて、また地域の方も心配して頂いている方がたくさんおられますので、自治会なりいろいろ通して、各家にちゃんと速やかに、だいぶ大きく方向が変わったと思いますので、今日の結果について早急に知らせて頂けたらと思いますので、よろしくお願いします。

<地域の方>

○先程の方良い事言われましたので、よく検討して頂きたいと思います。それから先程、教育長さんが教育委員会だけでは決められないと言われたのは、じゃあ、教育委員会とどこで決めるんですか。そういう事は。お答えください。お願いします。

→最終、ほんとに意志決定をお伝えするという事に関しては、別のかたちになります。ですから、ほんとに教育委員会としてのこともあるんですけど、教育委員会としてじっくり

そこは練ってですね、それについて今度は、方向性について意志決定をしていくとなれば、当然市全体として、市長も含めてですね、考えていきますんで。それをさっきお伝えしたところです。当然そうです。教育委員会として、当然

○大塩さんに

→その前に教育委員会として、そこは改めてですね。しっかりと話をしていきたいと思っています。そこは、当然市の方とですね協議をしていこうと思いますから、まずは教育委員会として、しっかり進めていきたいと思っています。

<在籍 保護者>

○今の私の後ろの方が言われたように、保護者、地域にお便りとかは、頂けるんですか？教えてください。

→これからすることとして、先程ホームページの更新、それから出来るだけ有効な広報媒体、市の広報誌であるとか、それからうちの教育委員会の広報誌であるとか、それからチラシとして、各学校配布。それから、コミュニティですね、地域の方々。いろんなパンフレット作成、これをですね、出来るだけ早期に案内させてもらいたいと思います。ただもう一度、逃げてはないですが、これらの公の文書を出すにあたっては、それなりの了解をとっておかないといけません。その時間だけはいただくことになります。それから、ホームページのことについては、このようなことになって、第3回で終わるはずだった説明会が、今後もあるという趣旨で書きますし、それから決定口調で書いてあったことも残しつつ、それは今でもそうではないんですよ、というような訂正文を入れて、ホームページを作成するわけです。満足かも不満足かも、歩合についてこれからちょっと考えさせていきたいなと思っています。

<在籍 保護者>

○緑台小学校が単学級になってしまったことについては、どうお知らせ、どういう風にお詫びなりをされるんでしょうか。答えられないんですか？

→その部分については少し、個別に実際に動かされた方の御移行もあるので、その辺も確認した上で、また了解を得られれば出させていただきますけれども、了解が得られない場合には、少し考えさせていただきたいと思います。

<在籍 保護者>

○その件ですけど、個別の事情はもちろんです、もちろんですけど、1クラスになってしまった子ども達に、保護者にどう説明されるのか。それと小学校全体の問題です、1クラスになってしまったことは。私たちも色々迷惑を被ります。はっきり言って、もの凄く。1年生から6年生の問題です。全部。それに関してどうされますか？

→何名かが、こういう異動をしたことによって、単学級が生まれたっていうことは、あるんですけども、実際に今こうスタートしている中で当然申し訳なかつたと、なんらかの形でお伝えしないといけないんですけども、具体的なことにつきましてはね、もうちょっとお時間をいただけたらなというふうに思います。

<在籍 保護者>

○具体的なことについては、まだお答え出来ないということでしたけど、これから多分教育委員会の方で色々ご相談されると思います。その一つが多分定例会、教育委員会の定例会で、今日の報告会を行うのだと推測します。そこで5月の定例会の日時を教えてください。その定例会、傍聴は自由ですというふうにホームページで載っております。日時が決まっておりますら5月の定例会の日程を教えてください。

→5月の26日の14時からです。予定では5月の26日14時です。午後2時です。

○庁議室でよろしいですか？それから、教育委員会の定例会のあとにまた校区審議会を収集されるのではないかと思いますけれども、あくまで私の推測ですが、今後のご予定はどんな感じなのでしょう。

→校区審議会ですが、新しい委員さんにご就任いただいて、6月、できるだけ早い時期でやりたいと思っております。まだ、ご就任、それぞれの委員の皆様に対して就任の約束を取り付けておりませんので、早い時期としか申し上げられないんですけど、6月中には、まず一回目をやって、今回のこの結果について十分説明して、新たにどのような方向性を考えていくかっていうのも、今後の議題になっていくと思います。

○それでしたら、6月の早い時期に校区審議会、召集していただいて、その時に精査された児童数の推移とか、色んなこれからの課題、もろもろの課題もとりあげていただいて、新たな方向性、新たな決定っていうのを、今度私たち、地域住民にお話ししていただける次回の説明会はだいたいどの辺りで予定されているのでしょうか。

→今口頭で、6月の初旬と申しましたけれども、それは、さっきも申しましたけれども委員就任がまだいただいておりませんし、私たちとしては6月の出来るだけ早い時期と思っておりますが、後半に伸びるかもしれません。ただ、この件についてだらだらと長引かせ

るというか、そうすることによって、良くないことは重々承知しています。さっそく明日からなんですけども、持ち帰りまして、校区審議会を動かしていくということで、スケジュールを決めていきます。

それからなんですけど、新たに招集頂いた方々ですね、当然、その内容をですね、結論みたいなのを最初から教育委員会が設定していくのは少し違うのかなと思います。ですので、まずはこういう様な状態になっておって、これこれの問題があると言うようなことで、先生方には、考えて頂きたい。その中で、その時点では今後の結論は出ないかもしれません。それは、ご容赦ください。それは、悠長にしている時間はないので、先ほども言った通りホームページに出して、あるいは、公に違うんですよってことを、早く発表しないことには、ますます影響は広まりますので、それは絶対避けたいなとこの様に思っております。

○分かりました。私が今一番心配しているのは、今までは3回目の説明会で打ち切り、市からの決定事項を発表しますとのことで、今日もし統合の決定がなされてしまった場合に、予算編成というのを10月に行うつもりでいらっしゃるよ、もしそうでしたら。今回この様に流れが変わったことで、予算の編成の予定とかそういうのも全部、白紙というか、計画外のことになると認識して宜しいんでしょうか。それもなしという事で。

→予算のことについて、ご説明します。前回の説明についても申しあげましたけれども予算要求をするには、実際にお金がある年度の前年度の予算委員会に上げなくてはなりません。いつやるかと言ったら、今言って頂いた通り、前年の10月位から作業を始めて、その年の12月、年末ぐらいから議案という形で出てくるものです。当然その内容については、市のホームページでもどの予算要求しているのかは、公開しております。で、そもそもの話が今ちょっと時間くださいと変わりつつあるので、予算要求もできない事があります。もともと例えばバスの通学の補助金も予算要求するのであれば、その補助金という形で、予算要求することになるので、それがなければバス通学の補助金については原案はないんだなという風にお考えください。それと担当としては、具体的にどう進めてよいかというところから考えなければいけないので、無秩序に予算要求は出来ないなと思っております。

→先ほど、教育委員会のことを聞かれましたけれども、来週の26日に教育委員会開くんですけれども、当然、教育委員会事務局の方で、今日緑小とこちらの方で頂いたご意見、それを含めてですね、整理をして、対応の準備等も含めて、教育委員会の協議会の教育委員会にかけることになります。そういう面では私中心に、事務局としてですね、すこし時間が、早急にそういうことについて検討進めていくし、関係部局のところにもそういうことについてはご相談をしていかなければなりません。そういう中で、決定事項みたいなことで教育委員会にかかることは今回は出来ませんが、次の6月の時かその次、時間が調整できるかわかりませんが、少なくとも6月の次の教育委員会、協議会等開く予定ですのでそういう中で出来る準備をして、そして教育委員会に諮るという対応になると思っておりますので、そこはご了解いただきたいなと思っております。

<在籍 保護者>

○校区審議会の件なんですけれども、この話が最初に出てきた、27年6月の校区審議会の答申で、児童数だという話で、この話が持ち上がったと2回目の説明会でお聞きしていたんですけど、その時に陽明、緑小、両方の校区からは、保護者代表が入っていないくて、よその学校、全然関係のない地域の保護者の方が入っておられたことについて私からご質問させて頂いたときに、それはたまたま統合ということではなく、毎年の校区審議会の中でその話が出来て来たんです、というお話があったので27年時点ではしょうがなかったのかなと思うんですけど、この話、ここまで今、緑小、陽明のそれぞれの保護者の意見を聞くところまでいっているの、校区審議会でもたまたま全然違う地域を重視されてまた進んでいくのは違うのではないかなという感じもしまして、今から委任されてということなんですけれども、そのメンバーというのは、その年の輪番で川西市全体の校区のことと思うんですけど、ここまで進んでいってる話なので、住民中心で話していただくことは出来ないのかなということと、あと4回目以降、大集会、中集会、小集会っていうようなことで、陽明と一緒にいいのか別の方がいいのかということ踏まえて、やり方も考えていきたいと言って頂いたんですけども、やっぱり校区審議会でも決定ですみたいな感じでおされてしまうと、またちょっと違ってくると思うので、その辺りのその両方の役割の違いを整理していただきたいと思うんです。

→最もなご意見として、おっしゃる通り、これだけの状況になってますから、地域の方の意見を聞く場は必ず設けようと思っています。ただですね、前の時も、元々統合問題が議題で最初から上がっていたわけではなくて、たまたま関係者が入っていたことによって、その委員さんについては非常に苦しい思いをしていただいたと思います。審議会の中での発言が、地域のすべての意見を網羅しているというような、そういうようなことになってしまっても、個人的に背負いきれないものがあるはずなんです。ですので、この先ですね、関係の地区から委員さんを出してもらうにしても、そのお一人だけがすべてについて責任を持ってもらうのがいいのか、悪いのかっていうことはついてまわります。ですので、決して皆さんの意見聞くのを排除するという意味ではないです。ただストレートにお一人ずつ選ぶのがいいのか。グリーンハイツで1人、清和台で1人選ぶのがいいのか、そこらも含めてちょっと考える時間をいただければと思います。

もともと校区審議会と言うのは、個別の地域の問題を、校区に関して、編入すべきかどうか、あるいは5%枠の制度が有効かどうかと考える審議会だったんですね。本当にそれが仕事だったんです。ところが、今回の26年度にこういう話になってしまって、引き受けていただいた先生方にとってもご苦労おかけしたなと思っております。結果として苦しい中でも、ああいう方向が残ってしまいましたから、結局この地域の皆様にとっては、あんまり心地いい文章は残ってないですね。ただ第三者委員会という立場で、あえて保護者さんを含めて、苦しい中でまとめていただきましたので、それについては私達も尊重させて頂いた、つまり全く違う答えを最初からは出せないんです。で、今度なんですけど審議会のメンバー構成も含めて、十分このあたりを配慮したいと、お約束したいと思っております。

もうちょっとそれも時間をください。

<在籍 保護者>

○さっきの話で今ホームページ見てまして、緑台小学校及び清和台小学校の校区外申請については別途詳細が決定次第決まります。となってますけど、現状来年度は通常通りの5%、ぐらいの決定は今出来るのでしょうか。それすら、いろいろな議論を経ないといけないのでしょうか。決定出来るのであれば、今の状況を考えて、来年は通常通りの5%で実施しますという答えが欲しいと思います。

→特例制度を来年もやるかということなんですけども、本当に緑台の時に大分お叱りを受けたんですけど、誘導するつもりはさらさらなくて、個人さんが5%枠で抽選から外れて行けなくなったということがあってはならんなというようなつもりで、もしご希望があるのでしたらというそんな立場で特例制度はスタートしました。ただ、今の所5%制度については、従来の制度ですから引き続きそれはします。で特例制度についてはこれだけのご批判を受けてますので、やるかやらないかを含めて、ちゃんと中で議論させてもらいたいと思います。やらないともここでは言えませんし、やりますとも言えないと思います。

<在籍 保護者>

○何度も言ってますけど、あなた達が特例措置をとる事によって、私たち緑台小学校の1年生は単クラスになったんですよ。その責任はどうするかって、先ほどお詫びしましたよね。そしたら、そこで発表するのは、5%枠になる方向に持っていきます、努力しますとかいう答えじゃないんですか。ここで発表するのがわかりませんかでは収集が付きません、はっきり言って。私たち緑台小学校に通ってる子ども達や保護者は無視されるんですか。あなた達が勝手に決めたことで、こんなに混乱を招いて、色んな人が被害を受けて、もうすごく悩んで陽明に行った人もいるって今聞いたばかりですよ。それなのに、その答えはおかしいんじゃないですか。どうやって責任をとるんですかっていう話をしましたよね。やめてください、という人もいます。そりゃあ。ならないって言わないんですかね。ならないようにしますって言わないんですかね。それが責任ではないんですか。いろんな人が被害受けてます、ものすごく。私達の子ども達も被害受けてます、ものすごく。

→今内部で話したんですが、やらない様、努力致します。

<地域の方>

○ホームページの変更と、それと広報誌にはいつ載せてくれますか。とりあえず変更しますということは、早急にやらないかと思えます。それからおしゃるようになりますね、白紙撤回するのかな

んかするのは知りませんよ。だけどとりあえず、それは一旦こういうような住民の会があって変更しますというのは明日でも今日でも出してほしいんですけど、それが一か月も先になって審議会がどうのこうの言うたら、もうちゃんちゃらおかしいです。それやったら完全な詐欺ですよ。ここまで誠意をもって親が来てるわけやから。ホームページの変更は今日にでもすぐ出来ますよね。広報誌は明日にでも変更出来ますよね。それは皆さんやってください。それだけはお願いせんとここは引き下がれませんよ。

→ホームページなんですけど、今日の説明会が終わって、23日ですね。23日に早急に会議致しまして、記事の内容もチェックいたしまして、ホームページについては、即日に対応したとしても、一応予備として27日まで時間をください。27日までの間はアップします。だからそれより早くあがることもありますし、最悪遅れても27日だということですよ。

それから広報誌なんですけど、こちらの事情なんですけれども実はだいぶ前に締めは決まっていますので、広報誌の担当と調整して、どれくらいの記事でどれくらいの量あげてもらえるかというそういう話もあります。その時間もちょっといただきたいです。

<在籍 保護者>

○多分この場では決められないことだと思うんですけど、緑小から陽明にいった子どもたちはどういう対応になるんですかね。来年特例がないってことは、緑小の校区だったら陽明からまた緑小に変更ってことになったりするんですかね。今1年生で、ほんとは緑小だったけど陽明に行った子は、陽明に残るのか緑小に転校するのか、どうなるんでしょうか。

→今回の特例措置で異動された方々はお一人ずつ確認して、ご本人の御意向を確かめたいと思います。翌年以降は、当初の校区でまず前提として進んでいただいて、その例外は5%枠だけに限るといふ、そのようにしたいと思います。

<在籍 保護者>

○最後に5%枠は撤回します。と言われましたけど、朝の説明では、私たちには決める権限はありません。と散々説明を受けましたけど、簡単に5%枠を撤回されるんだったら、白紙撤回もしてくださいよ。5%枠は撤回すると言いましたよね。

→従来通り5%枠で、

○だから従来通りが5%枠でしょ？ですよ。特例が無くなる、で5%に戻る。その撤回を簡単にされるのであれば白紙撤回も簡単に出来るんじゃないですか。3人でそこで話をして決めたいですよ。じゃあ白紙も3人で討論して、議会とか教育、何ですか？忘れちゃったけど、に持っていき

ていうことが出来るってことなんじゃないんですか。

朝は私たちには決める権限がないんですって言われたんで、納得してる部分があるけど、5%に関して簡単に決めるのであれば、そこも決めて、そういう方向に持っていきますという誠意を見せて欲しいんですけど。

→こちらで話したのは、そういう決定、断定ではないんですけども、その方向で約束したわけです。我々は来年も特例があったら影響が大きいということで、とても重いお気持ちを聞かせていただいていますね。午前中もそうですけども、特例措置については、簡単ではないです。簡単ではないですが、来年はない方向で努力したいと思ってる訳です。それで宜しいですか。

○統廃合も簡単じゃないですけど。特例が出来て統廃合が出来ない理由はなんなんでしょうか。両方簡単じゃないです。むしろ統廃合の方が重たいので出来ないと言われるのは、わかるんですけど。両方簡単ではないというのはわかります。でも特例を持っていけて統廃合を持っていけない具体的な理由はなんですか。特例は持っていきます。でも統廃合は私たちでは持っていきません。その理由を教えてください。

→統廃合というのは、特例措置とはそもそも価値の違う非常に大きい問題です。その大きな柱を決めるのに、26年度から非常に時間をかけて、色んな手続きを経て決めてきていることです。今回の特例措置については、非常に申し訳ないんですけども、実際の5%枠で抽選に漏れた方が泣くことがないようにというような運用で変えたんです。そういった意味で両者を同じレベルでお答えすることは、つまり約束することは出来ません。これはご理解ください。

○教育長としては、統廃合について、率直な意見をもう一回聞かせて欲しい。お願いします。だから説明はいらなくて、率直な意見として、私人としても構わないので、やめた方がいいと考えているのか、進めたいのか、その意見は2つだと思うんです。私人としてやめた方がいいと考えてたのか、進めるべきかと考えているのか、率直な意見を聞きたいです。

→個人としてお答えすることはありません。基本的にはですね、教育長、教育委員会としてですね、今おっしゃったところで、現状のこれから先のことを見越して具体的には実際には延びる可能性も含めて、統廃合については、それは意思決定をこれから進めていく上においてですよ、今の段階では30年4月は難しいけれども、それから先の方になる可能性を含めまして、考えていきたいという話をさせてもらってるんです。

→またこのような機会を設けさせていただきたいと思っておりますので、たくさんのご意見を本当にありがとうございました。これを持ちまして、本日の地域説明会を閉会させて頂きたいと思っております。お気を付けてお帰りください。

終了